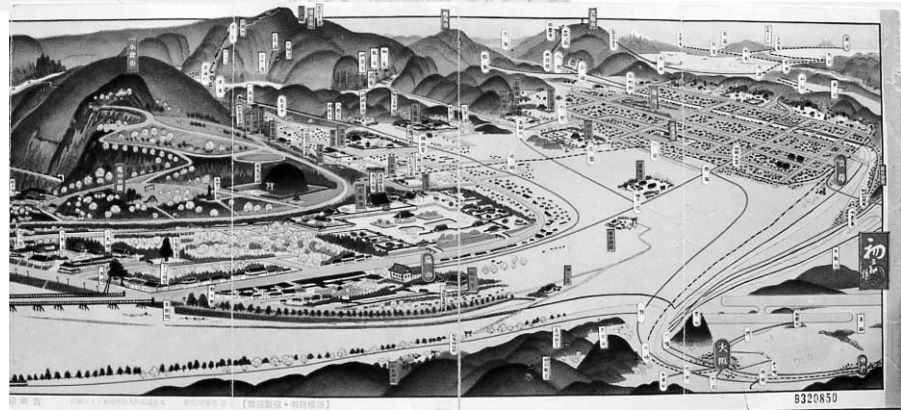
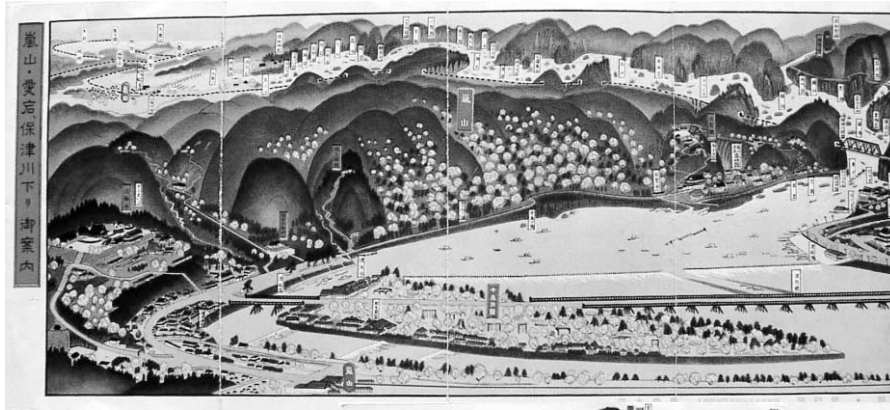




総合資料館だより

2008.4.1 No.155



「嵐山名所図会 附保津川くだり」

桜花爛漫の嵐山～吉田初三郎の鳥瞰図～

嵐山は大堰川の渡月橋兩岸一帯をさす地名で、この図では、渡月橋を中心に亀岡から渡月橋上流までの保津川下りの行程が描かれています。

これを描いた吉田初三郎（1884～1955）は「大正の広重」と呼ばれ、大正から昭和にかけて活躍し、生涯に1600種以上の鳥瞰図を作成した鳥瞰図絵師です。

京都に生まれた初三郎は、友禅図案の職工などを経て洋画家を志し、鹿子木孟郎に入門しますが、師から商業美術を進められたことや、大正2年刊行の京阪電車の沿線案内図が皇太子（のちの昭和天皇）の賞賛を受けたことから、観光案内図の製作を手がけるようになります。

左右の端をU字型にまげ大胆なデフォルメを施した絵図は、「初三郎式鳥瞰図」と呼ばれ、大正時代の旅行、観光ブームの中で人々の人気を博しました。この絵図にも見えないはずの富士山まで描かれています。なお、近日中に「京の鳥瞰図絵師 吉田初三郎」展を総合資料館のホームページで公開予定ですので、ぜひ御覧ください。

目次	桜花爛漫の嵐山～吉田初三郎の鳥瞰図～	1	文献課の窓から「旧分類の図書 続編」	2
	歴史資料課の窓から「黒川翠山撮影写真資料の新知見」	3	公開資料紹介「京都府地籍関連資料」	4
	最近の収集資料から	6	平成20年度事業予定	7
	展覧会のご案内、友の会事務局から	他		8

旧分類の図書 続編

京都府立図書館をめぐる人々 羅振玉と王国維

開館時に京都府立図書館から引き継いだ蔵書に「旧分類」と呼んでいる図書群があります。「旧分類」については、『総合資料館だより』147号でご紹介しましたが、目録はまだ電子化されていません。現在、電子化の準備を進めていますが、その作業の途中で、羅振玉という人から寄贈を受けた図書が複数あることが目にとまりました。紙数の関係で簡単にではありませんが、羅振玉と京都府立図書館の関わりについて紹介したいと思います。

羅振玉(1866~1940)は、中国清朝末期の官人であり学者でした。農学の振興や明・清代文書の保存にも功績がありましたが、特に甲骨文字の研究においては「甲骨四堂」と称されるほどの大学者でした。また、満洲国成立後は皇帝となった溥儀(清の宣統帝)の側近でもありました。羅振玉は、終生、清朝の遺臣としての姿勢を貫いた人であったそうです。

彼は、清朝が崩壊した辛亥革命を逃れて王国維らとともに日本に渡り、明治44(1911)年から大正8(1919)年まで8年間京都に住んでいました。その住居は京都大学の近くで、当初は現在の左京区田中飛鳥井町、後に浄土寺東田町にあり、岡崎の府立図書館にも近かったといえます。彼は、京都大学の内藤虎次郎(湖南)・狩野直喜・富岡謙蔵を始めとする多くの人々と深い交流を持ちました。

京都府立図書館は、大正3年1月16日付けで羅振玉から13点の図書の寄贈を受けています。ここでは、書名のみを右に挙げておきます。大学者の足跡が京都府立図書館にも残っていることには、一種の感慨をおぼえます。

その中の1冊に『壬癸集』がありますが、これは、羅振玉と「形影相伴った」と評された王国維の著作です。王国維(1877~1927)も甲骨四堂の一人で、羅振玉の弟子でもあり婿でもありました。『壬癸集』の刊記には、「大日本京

都聖華房以江州旧木活字印行」と記されています。聖華房は京都の古書店ですが、出版にも携わりました。『壬癸集』は木活字で印刷されていることが注目されます。「江州旧木活字」は彦根侯旧蔵とする話があり、井伊家に伝わったものようです。この『壬癸集』巻頭の詩は「頤和園詞」と題されていますが、羅振玉に先立って帰国した王国維は、清朝の前途を悲観し、昭和2(1927)年頤和園の昆明湖に身を投げてしまいます。

羅振玉が実際に府立図書館を訪れたかどうかは確認できていませんが、どのような思いでこれらの図書を寄贈したのか、また、当時の館長湯浅吉郎とも学問談義を交わしたのかもしれないなどと想像すると、当時の府立図書館の雰囲気さをさらに知りたくなります。

羅振玉と府立図書館との関わりがもう一つあります。13点の図書の寄贈に先立つ明治42年11月、京都大学の史学研究会大会が府立図書館で開かれ、ここに敦煌で発見された文書の写真が展示されました。この写真は、羅振玉が内藤虎次郎に送ったものだったのです。

なお、旧分類中の羅振玉の著書としては、後日図書館が購入した図書も4点あります。また、羅振玉と交流の深かった内藤虎次郎関係の資料は、大阪市立大学の内藤文庫や、木津川市加茂図書館に内藤湖南資料として収蔵されています。

旧分類図書の目録電子化作業を進める中で、改めて何人もの先人との出会いについてご紹介できることを楽しみにしています。

(文献課 西村隆)

【羅振玉寄贈図書】

読碑小箋
昭陵碑録
金石学録
金石萃編校字記
碑別字補
壬癸集
眼学偶得
霜紅齋集
方泉詩集
李商隱詩集
王無功集
面城精舍禠文
東陸紀行

黒川^{すいざん}翠山撮影写真資料の新知見

写真雑誌『歴史写真』を手懸りとして

19世紀の半ばに写真が日本に紹介されると、いろいろなものが被写体として撮られました。現在、それらは歴史を伝える貴重な記録として各地で保存され、活用されています。総合資料館では、京都の写真について収集し、資料の形態等により文献課と歴史資料課に分けて収蔵しています。そのうち歴史資料課には、黒川翠山撮影写真資料等7タイトルの資料群があります。

黒川翠山撮影写真資料は、明治末期から昭和初期にかけて京都を中心に活躍した写真家黒川翠山の残した写真2,566点で、昭和48(1973)年に御遺族から寄贈されました。その時に目録を作っていますが、撮影年月日、撮影地点、作品名などの不明なものもあります。その後、同資料に関して、写真雑誌の『歴史写真』などの寄贈も受けました。『歴史写真』は、翠山等も顧問となった雑誌で、その中に翠山の写真が数多く掲載されています。それを調べることで、これまで撮影地点等の不明であった写真のいくつかが確定できましたので、以下に紹介します。

撮影地点の明らかになった写真には、木戸孝允邸(資料番号1941、以下同)、豊鷲山荘(1951)、南禅寺天授庵の庭(1957)、京都記念動物園(1998)などがあります。木戸孝允は、幕末から明治初期に活躍した長州出身の政治家で、その邸宅は土手町通竹屋町上るにありました。豊鷲山荘は、造園家小川治兵衛の作庭した名庭として知られます。南禅寺の塔頭天授庵は細川幽斎の再興で、その庭園も幽斎の作と伝え

られています。京都記念動物園は明治36(1903)年に開園、上野動物園に次いで古い動物園です。

目録の誤りも見つかりました。南禅寺としていたものが妙心寺庫裏(433)、枳殻邸としていたものが勤修寺(883)、瀬田川の帆船としていたものが宇治川(1593)であることが明らかになりました。いずれも類似した景観であることなどからの誤りと思われる。中でも宇治川の帆船の写真は、水運資料として貴重なものです(『総合資料館だより』154号掲載)。これまで瀬田附近としていた写真(1594)も、類似写真から越前の敦賀にある気比神社の奥宮といわれる常宮神社だといえます。

撮影年の下限を押さえることができたものもあります。例えば、宇治の茶摘女(1424)は大正12(1923)年6月号に掲載されているため、それ以前の茶摘の写真として判断できます。同号には、嵐山の筏風景である五月雨煙る保津川の清流(1334)も載っています。洛外賀茂の田植え(1416)は、大正14(1925)年6月号に載ります。ただし、同一の写真を何度も掲載しているものもあり、撮影年に関しては掲載号よりかなり遡るものもありそうです。

翠山は、雑誌『太陽』等に投稿している時期もあり、それらも丹念に調べると、翠山写真のさらなる解明を進めることが期待できます。なお、新たに判明した事項などは、総合資料館メールマガジンにも順次紹介していますので、そちらも御覧ください。

(歴史資料課 史料普及担当)



『歴史写真』第263号(1935年)(表紙 車通しの桜
<御所> 黒川翠山撮影写真資料832と同一の写真)



木戸孝允邸(黒川翠山撮影写真資料1941)

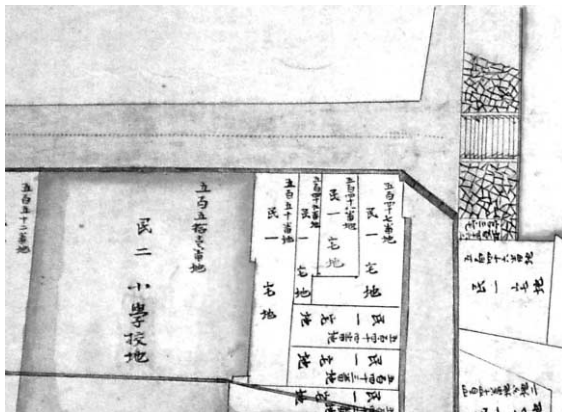
京都府地籍関連資料

今回公開した資料「上京区地籍図」「下京区地籍図」「官有地一筆限調簿」「官有地籍図」の概要について紹介します

これらの資料は、明治7(1874)年12月に国が実施を通達(内務省乙第84号達)した地籍調査により作成されたものです。

京都府はこの通達を受け、明治17年3月に乙第64号「地籍編纂心得書」(京都府行政文書 明15・40「地籍編纂二係ル諸課掛署郡区役所戸長役場往復」)を定め、管内の地籍調査を開始しました。この調査は、これまで所有者が明確でなかった山林原野などの土地を含め、全ての土地を官有地・民有地に区分するために行われました。

まず、町中であり状況を把握しやすかった当時の上京区・下京区が、個々の家の境界線や地種目を整然と描いた町ごとの図を、町組ごとにまとめ、その年の末に府へ提出しました。これが「上京区地籍図」「下京区地籍図」です。



下京区地籍図3「15組 祇園町南側全図」石段下の辺り

しかし、山林原野が多く、把握が困難な郡部では、調査ははかどりませんでした。そこで府は、その年の12月に調査の実施細則として「地籍編纂主任官心得」(京都府行政文書 明17・32「地籍編纂二係ル諸省伺届 往復并各府県裁判所往復」)を定め、民有地の調査は後まわしとし、官有地の調査のみを優先して行うよう指示しま

した。

これに基づき、翌年1月から山城各郡で調査が開始され、葛野・愛宕・乙訓・宇治郡の一部の地籍調査が完成しましたが、他の地域では財政上の問題などで完成しませんでした。

この調査の成果物が「官有地一筆限調簿」と、その附図である「官有地籍図」です。

この「官有地籍図」は前述の上・下京の地籍図とは異なり、残念ながら個々の家の境界線は描かれておらず、官有地・宅地・田・川・道路などが色分けされるにとどまっています。



官有地籍図5「愛宕郡5上加茂村(甲)」社家町の辺り

今回公開した資料は、数年前まで京都府で行っていた官有地の境界確定業務を所管する課で、使用されていました。しかし、その業務が各市町村へ移されたことを機に、担当課から当館へ引き渡されたものです。

「上京区地籍図」「下京区地籍図」については、現在の中京区などを含んでいたり、逆に現在は上・下京区内の町でも、当時は郡の管轄下にあった町は含まれていません。

また、「官有地一筆限調簿」「官有地籍図」の一覧は次頁のとおりです。

明治時代の様子を知ることができる資料です。御利用ください。

(歴史資料課 行政文書担当)

官有地籍図・官有地一筆限調簿 対照表

現市町区	おもな町名 (地区名)	官有地籍 図番号	調簿 番号
右	西京極郡	官186	112
	川勝寺	官185	114
	太秦	官136	80
	太秦常盤谷	官137	82
	嵯峨野	官138	83
	嵯峨水尾	官139,140	84
	嵯峨天竜寺	官141	85
	嵯峨	官142~46	86 87
	嵯峨原	官147,148	88
	嵯峨越畑	官149,150	89
	嵯峨清滝	官収09-32	-
	西院	官151	90
	山ノ内	官152	91
	梅津	官153,154	92 93
	宇多野	官155,156	94
	花園	官収09-23	95
	中野	官157	96
御室	官158	97	
谷口	官159	98	
梅ヶ畑	官160,161	99	
安井	官192	81	
上	御所	官収02-01	-
京	小野	官収01-08	-
	鷹峯	官1,2	1
	西賀茂	官3,4	2
	上賀茂	官5,6,7	3
	大森	官162~165	100
	杉坂	官168	101
	真弓	官169	102
	中川	官170	103
	北野	官収01-26	-
	鞍馬口・ 出雲路	官収01-25	-
	小北山	官収01-27	-
	小松原	官収01-18	-
	小山	官収01-24	-
	大將軍	官収01-28	-
	等持院	官収01-29	-
	紫竹・紫 野・大宮	官収01-19 ~01-21	-
	雲ヶ畑	官33,34	16
大北山	官収01-22, 01-23	-	

現市町区	おもな町名 (地区名)	官有地籍 図番号	調簿 番号
左	静市野中	官8,9	4
	静市静原	官10,11	5
	静市市原	官12,13	6
	岩倉幡枝	官14,15	7
	岩倉	官16~18	8
	岩倉中	官19	9
	岩倉花園	官20,21	10
	岩倉長谷	官22~24	11
	修学院	官25	12
	高野	官26,27	13
	八瀬	官28~30	14
	一乗寺	官31,32	15
	花背八掛	官35,36	17
	花背大布施	官37,38	18
	大原	官39~42	19
	大原小出石	官43,44	20
	大原百井	官45,46	21
大原大見	官47,48	22	
大原尾越	官49,50	23	
久多	官51~54	24	
北白川	官収03-52 ~03-55	-	
鹿ヶ谷	官収03-56	-	
下鴨	官収03-48	-	
浄土寺	官収03-50	-	
田中	官収03-51	-	
松ヶ崎	官収03-49	-	
吉田	官収03-57	-	
南禅寺	官55	-	
岡崎	官56	-	
岡崎・聖護 院・粟田口 山地	官64	-	
聖護院	官57	-	
中堂寺	官65	25	
西七条	官66	26	
朱雀	官67	27	
七条御所 ノ内	官68	28	
塩小路村	官69	29	
梅小路	官70	30	
崇仁	官73	33	
東塩小路	官収07-08	-	
聚楽廻	官74	34	
壬生	官75	35	
西ノ京	官収04-01	-	

現市町区	おもな町名 (地区名)	官有地籍 図番号	調簿 番号
西	御陵	官171,172	104
	下山田	官173,174	105
	松尾谷	官175,176	106
	松室	官177,178	107
	上山田	官179,180	108
	榎原(岡)	官187	109
	下桂	官184	116
	桂千代原	官191	115
	上桂	官183	113
	桂徳大寺	官181	117
	川島	官188	118
	下津林	官189	119
	牛ヶ瀬	官190	120
	大原野上羽	官118	70
	大原野石見 ・上里	官119	71
	大原野石作	官120,121	72
	大原野北春 日・南春日	官122,123	73
大原野小塩	官124,125	74	
大原野外畑	官126,127	75	
大原野出灰	官128,129	76	
長野新田	官130,131	77	
大枝塚原	官132	78	
大枝沓掛	官133,134	79	
栗田口	官58~63	-	
今熊野	官収05-01	-	
清閑寺	官収05-02	-	
小栗栖	官213, 官収11-09, 11-12	-	
石田	官214	-	
淀樋爪	官91	49	
羽東師古川	官92	50	
羽東師志水	官93	51	
羽東師鴨川	官94	52	
羽東師菱川	官95	53	
久我	官111,112	64	
下鳥羽	官収11-08	-	

現市町区	おもな町名 (地区名)	官有地籍 図番号	調簿 番号
南	八条	官71	31
	唐橋	官72	32
	西九条	官収08-08	-
	久世東土川	官113	65
	久世大藪	官114	66
	久世築山	官115	67
	久世上久世	官116	68
	久世中久世	官117	69
	上野	官198	110
小野	官209	111	
髭茶屋	官202	-	
八軒屋敷町	官203	-	
音羽	官204	-	
大塚	官205	-	
大宅	官206	-	
柳辻	官207	-	
栗栖野	官208	-	
西野山	官210	-	
厨子奥	官194	-	
厨子奥花鳥	官193	-	
日野	官211,212	-	
日岡	官195,196	-	
御陵	官197	-	
安朱	官199	-	
竹ヶ鼻	官200	-	
四ノ宮	官201	-	
上野	官182	-	
上植野	官104	58	
鶏冠井	官105	59	
向日町	官106	60	
森本	官107	61	
物集女	官108	62	
寺戸	官109,110	63	
金ヶ原	官80	39	
浄土谷	官81	40	
奥海印寺	官82,83	41	
下海印寺	官84	42	
勝竜寺	官85	43	
調子	官86	44	
友岡	官87	45	
神足	官88	46	
馬場	官89	47	
開田	官90	48	
長法寺	官96,97	54	
栗生	官98,99	55	
今里	官100,101	56	
井ノ内	官102,103	57	
大山崎	官76,77	36	
円明寺	官78	37	
下植野	官79	38	

※「上」は上京区です。

- 「官」は「官有地籍図」の番号。
- 「官収」は「官有地籍図収集資料」の番号。この部分については写真で収集しました。原本は所蔵していません。
- 「調簿番号」は「官有地一筆限調簿」の番号。
- できるだけ現在の地名を表記しましたが、町の境界線が現在とは違っているため、この一覧にない町名でも、近隣の町の地籍図の中にあることがありますので、「おもな町名」としました。

❖❖❖❖ 最近の収集資料から(平成19年12月~平成20年2月) ❖❖❖❖

図書資料

京都

「京都五山禅の文化」展 足利義満六百年御忌
記念 東京国立博物館・九州国立博物館・日本
経済新聞社編 日本経済新聞社 2007
362,23p 寄贈

京都の門前町と地域自立 河村能夫編著 晃洋
書房 2007 10,309,17p (龍谷大学社会科学研
究所叢書 第76巻)

パノラマ地図と鉄道旅行 JR奈良線開通111年
記念 宇治市歴史資料館編刊 2007 80p 寄
贈

重要文化財伊佐家住宅東蔵・乾蔵・二階蔵・木
小屋環境保全事業工事報告書 伊佐安弥子編刊
2007 57p 図版76枚 寄贈

對龍山荘 植治と島藤の技 尼崎博正監修 淡
交社 2007 223p

小林かいちの世界 まぼろしの京都アール・デ
コ 小林かいち画] 山田俊幸・永山多貴子編
国書刊行会 2007 155p

人文

継体王朝成立論序説 住野勉一著 和泉書院
2007 12,334p (日本史研究叢刊 17)

初期室町幕府訴訟制度の研究 岩元修一著 吉
川弘文館 2007 7,287,14p

近世日英交流地誌地図年表 1576-1800 島田
孝右・島田ゆり子著 雄松堂出版 2006
294p 寄贈

日本女性史大辞典 金子幸子ほか編 吉川弘文
館 2008 8,795,137p 図版24p

* 真宗重宝聚英 第1~10巻 信仰の造形的
表現研究委員会編 同朋舎メディアプラン
2006・2007 10冊 寄贈

* 国宝六道絵 泉武夫・加須屋誠・山本聡美編
著 金井杜道撮影 中央公論美術出版 2007
376p 寄贈

* 俵藤太物語絵巻 大江山絵巻 長恨歌画
巻 義経地獄破り チェスター・ピーティ・ラ
イブラリー所蔵 勉誠出版 2005・2006 4冊
(甦る絵巻・絵本) 寄贈

* 大黒舞絵巻 鎌倉英勝寺所蔵 木村千鶴子・
八木意知男解説 勉誠出版 2006 94,30p (甦
る絵巻・絵本) 寄贈

* 塗師祥一郎画集 1947-2006 塗師祥一郎著
求龍堂 2006 187p 寄贈

* 新聞広告美術大系 1~17 羽島知之編 大
空社 2007 17冊 寄贈

* 世界百名瀑 白川義員作品集 1~3 白川
義員著 小学館 2007 3冊 寄贈

* 近藤潤作品集 近藤潤著 光村推古書院
2006 1冊 寄贈

* 印の資料は、財団法人京都高等学校から御寄
贈いただきました。

官庁

京都府職員録 明治8年4月22日・明治9年8
月1日改 京都府編 村上勤兵衛 1875-1876
1冊(3冊合綴)

京都府議会議員一般選挙選挙の記録 平成19年
4月8日執行 京都府選挙管理委員会[編]刊
[2007] 1冊

京都市交通事業白書(事業概要) 平成18年度
京都市交通局企画課編 京都市交通局 2007
130p 寄贈

「治安維持法」帝国議会議事録 高等法院検事
局思想部編 慧文社 2007 333p

がん対策に関する世論調査 平成19年9月調査
内閣府大臣官房政府広報室[編]刊 [2007]
182p (世論調査報告書) 寄贈

国語に関する世論調査 情報化時代と漢字使用
平成18年度 文化庁文化政策課[編] 国立印
刷局 2007 113p (世論調査報告書)

行政文書（新しく公開する資料）
京都府地籍関連資料 「上京区地籍図」7点、
「下京区地籍図」7点、「官有地一筆限調簿」
120点、「官有地籍図」213点、「官有地籍図収
集資料」34点。詳しくは、4頁参照。

文書資料（新しく公開する資料）
古久保家文書・丙 上京下西陣組の町代を勤め
た古久保家に伝えられた文書の3次分。貞享5
(1688)年一乗寺村鉄炮改帳、享保7(1722)年年
頭御礼江戸下入用覚、文化・文政期の茶会録、
近代教育関係資料、和歌・漢詩ほか。延宝4
(1676)~昭和44年。426点。寄贈。

菊岡家文書 京都馬借山城屋清左衛門家の文
書。二条蔵米元帳、荷物の受取帳票・人足割表、
近代運送業関係資料、家普請一件書類、近代書
状類、講関係資料ほか。幕末~大正年間。992点。
寄贈。

京都町奉行東御役所絵図 京都町奉行東御役所
の天明の大火以後の絵図。1点。

大恩寺町内会旧蔵文書 二条室町西入ル大恩寺
町(京都市中京区)の町内絵図・地券写など明
治期の記録類。明治2~21年。11点。寄贈。

平成20年度の事業予定について

当館の所蔵資料をより一層ご利用・ご活用い
ただくために、今年度も講座・展覧会を開催い
たします。ご期待ください。

開催予定は次のとおりです。

講座

「総合資料館府民講座」は、歴史や伝統文化、
館蔵資料紹介等のテーマで、年間8回程度開催
する予定です。

「古文書解読講座」についても、19年度と同
様、「初心者コース」と「一般コース」を各2
回ずつ開催する予定です。

なお、古文書の内容や解読についてのご相談
「古文書相談」についても、引き続き実施しま
すので、事前にお申し込みください。

展覧会

京都新聞連載記事「古典籍をあじわう」及び
「雑学京都史」の関連資料展を5月と7月に開
催します。

また、秋には恒例の「東寺百合文書展」を、
3月には、普段目にしていただく機会の少ない
収蔵品をご覧いただく「収蔵品展」を開催する
予定です。

これら各事業については、詳細が決定次第、
「総合資料館だより」、「府民だより」等のほ
か、当館のホームページ、メールマガジンでも
順次ご案内しますので、奮ってご参加ください。

平成20年度 総合資料館の年間事業予定

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講 座	年間8回程度開催											
座	初心者コース・一般コース(各2回)											
展覧会	京都新聞連載記事関連資料展			東寺百合文書展			収蔵品展					

注：現時点での予定であり、変更することがあります。

— 展覧会のご案内 —

京都新聞社、京都府立大学と連携して取り組んだ新聞連載事業「古典籍をあじわう」、「雑学京都史」を記念し、総合資料館と京都府立大学が所蔵する古典籍や古文書等の貴重な資料を広くご紹介する展覧会を開催します。会場は、いずれも2階展示室で、入場無料です。是非ご観覧ください。

第1部 古典グルメ・書物グルメのための名品展 - 京都府立総合資料館で古典籍をあじわう -
会期 5月10日(土)～5月25日(日) (5月14日(水)は休館)

内容 平成19年3月～平成20年3月にかけて京都新聞の連載「古典籍をあじわう」で取り上げた資料を始め、日本文学に関する資料や中国、朝鮮、日本の古版本など広くご紹介いたします。

第2部 雑学京都史関連資料展 - 中世・近世・近代京都こぼればなし - (仮称)

会期 7月19日(土)～8月17日(日) (7月21日(祝)、8月13日(水)は休館)

内容 平成19年3月～平成20年3月にかけて京都新聞の連載「雑学京都史」で取り上げた資料を中心に、総合資料館が所蔵する資料を広くご紹介いたします。

トークセッション

「古典グルメ・書物グルメのディスカッション ～京都府立総合資料館で古典籍をあじわう～」
古典籍の魅力や面白さをディスカッションを通じて参加者とともに探ります。

日時 5月18日(日) 午後1時～

参加ご希望の方は、氏名、電話番号を明記し、はがき、FAX又はメールでお申し込みください。
*満席で受講をお断りする場合があります。

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4 京都府立総合資料館 庶務課

FAX 075-791-9466 メール shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp

友の会事務局から

平成20年度の友の会は、3月11日現在で253人の方にお申し込みいただいています。

友の会に入会いただきますと、資料館だよりや古文書解読講座の案内をお送りし、また、現地講座やバス旅行などにご参加いただけます。

随時申込みを受け付けています。多数の方のご入会をお待ちしております。

問合せ先：友の会事務局

(当館庶務課内 TEL 075-723-4831)

古文書相談のご案内

古文書の内容や解読についての相談

郵送による事前申込。申込方法の詳細については、次へお問い合わせください。

問合せ先：当館歴史資料課 TEL 075-723-4834

日誌(平成19年12月～20年2月)
12.4(火)～12.7(金) 第6回古文書解読
講座(一般Bコース)

利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、
毎月第2水曜日、資料整理期、
年末年始(12月28日～1月4日)

【4月～6月の休館日】

4月9日(水)、4月29日(祝)、5月3日(祝)

5月5日(祝)、5月6日(祝)、5月14日(水)

5月28日(水)～6月13日(金) [予定]

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市地下鉄烏丸線・北山駅下車
市バス④(北8)北山駅前下車
京都バス④⑤⑥前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

*総合資料館メールマガジンにご登録ください

発行 京都府立総合資料館
京都府立総合資料館友の会(振替 01030-2-11991)

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1の4
TEL(075)723-4831 FAX(075)791-9466

本誌に関するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。